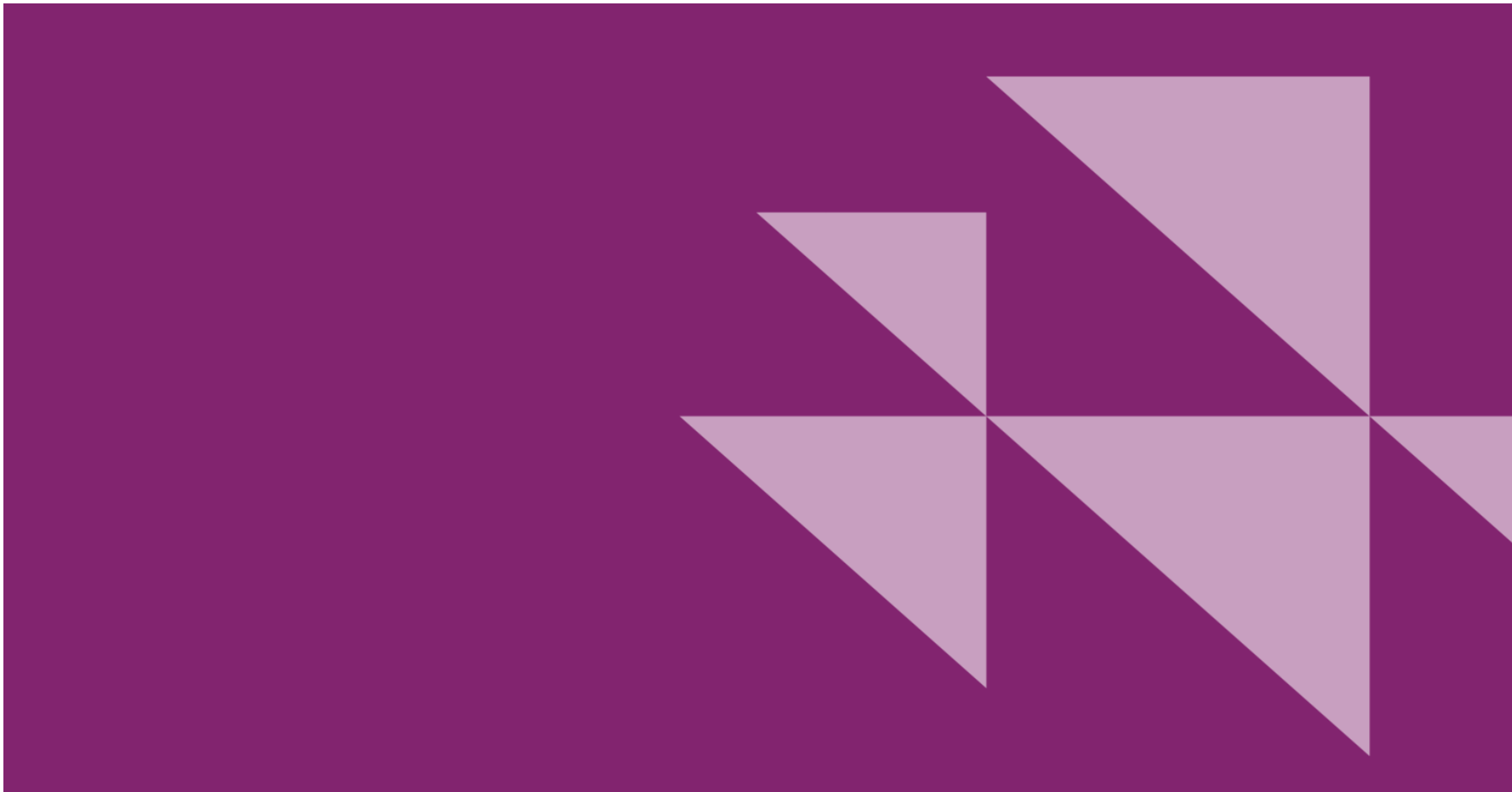


CDP2023 サプライヤーエンゲージメント評価基準

CDP 気候変動プログラム 2023



CDP2023 サプライヤーエンゲージメント評価基準

イントロダクション

サプライヤーエンゲージメント評価基準は、企業の CDP 回答によって報告されたサプライヤー活動に関して評価を行い、スコアを提供します。スコアは、回答内容の詳細さと包括性、企業の気候変動問題に対する認識の度合い、管理手法、気候変動に関するアクションの進捗度合いについて、回答を基に評価します。

必ずお読み頂きたい文書

本スコアリング基準は [CDP2023 気候変動質問書回答ガイダンス]、[CDP2023 スコアリングイントロダクション]、[サプライヤーエンゲージメント評価イントロダクション] と併用してください。本スコアリング基準を閲覧する際には、この 3 つの文書を事前にご理解頂くことを強く推奨しています。[2023 サプライヤーエンゲージメント評価イントロダクション] の文書には、本スコアリング基準を正しく理解するために必要な情報が記されています。

本スコアリング基準のステータス

本スコアリング基準は企業の回答がどのように採点されるのかを企業に説明することを目的としています。

「CDP は、本スコアリング基準に記載されている評価基準を、回答期間中にいつでも告知なく削除、修正、変更する権利を留保しています。このような変更は、環境スチュワードシップに向けた進捗状況を評価する目的において、スコアリング基準が公正、公平かつ効果的に活用できるようにするため必要な場合に、例外的に行われます。」

CDP2023 サプライヤーエンゲージメントスコアリング基準 - バージョン管理

バージョンナンバー	リリース/修正日	修正サマリー
1.0	2023 年 5 月 4 日	第 1 版

ガバナンス

社員へのインセンティブ

(C1.3) 目標達成を含め、気候変動問題への対応にインセンティブを与えていますか。

回答形式

次の表に記入してください:

気候関連問題の管理に対してインセンティブを与えている	コメント
以下の選択肢からお選びください ・はい ・いいえ。現在はただが、今後 2 年以内に導入予定 ・いいえ。また、今後 2 年以内に導入予定もない	文章入力欄 [最大 1.000 文字]

C1.3 - 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

本項目はスコアリングされません。

配点

得点	配点
0	0

(C1.3a) 気候関連問題の管理に対して提供されるインセンティブについて具体的にお答えください（個人名は含めないでください）。

他の質問との関連性

本質問は C1.3 で [はい] を選択した場合のみ表示されます。

回答形式

以下の表に回答してください。[行を追加] をクリックして、回答行を追加することができます。

インセンティブを受ける対象	インセンティブの種類	インセンティブ	実績指標	このインセンティブに関連するインセンティブ計画	インセンティブに関する追加情報	このインセンティブが組織の気候変動への取り組みや気候移行計画の実施にどのように貢献するかを説明してください
選択肢: - 取締役会長 - 取締役会/執行役員会 - 取締役 - コーポレート・エグゼクティブ・チーム - 最高経営責任者(CEO) - 最高財務責任者(CFO) - 最高執行責任者(COO) - 最高調達責任者(CPO) - 最高リスク管理責任者(CRO) - 最高サステナビリティ責任者(CSO) - 最高政府関係責任者(CGRO) - 最高技術責任者 - 最高投資責任者(CIO)【金融サービスのみ】 - 最高契約査定責任者(CUO)【金融サービスのみ】 - 最高債権責任者(CCO)【金融サービスのみ】 - その他の経営幹部役員 - 社長 - 顧問弁護士 - 役員	選択肢: - 金銭的報酬・褒賞 - 非金銭的報酬・褒賞	該当するものをすべて選択してください 金銭的報酬・褒賞 - ボーナス - 給与の一定割合 - ボーナス - 一定金額 - 昇進 - 昇給 - 株式 - 利潤分配分 - その他、具体的にお答えください 非金銭的報酬・褒賞 - 社内での表彰 - 社内チーム/従業員：月/四半期/年において表彰される - 公的な表彰 - その他、具体的にお答えください	以下のドロップダウン オプションから該当するものをすべて選択してください。	選択肢 - 短期インセンティブプラン - 長期インセンティブプラン - 短期・長期インセンティブプラン - 既存インセンティブ - この職務にはインセンティブ計画がない	文章入力欄 [最大 2,500 文字]	文章入力欄 [最大 2,500 文字]

インセンティブを受ける対象	インセンティブの種類	インセンティブ	実績指標	このインセンティブに関連するインセンティブ計画	インセンティブに関する追加情報	このインセンティブが組織の気候変動への取り組みや気候移行計画の実施にどのように貢献するかを説明してください
- 経営陣 - 事業単位マネージャー - エネルギーマネージャー - 環境、衛生、および安全マネージャー - 環境/サステナビリティマネージャー - 設備管理マネージャー - プロセス運用管理マネージャー - 調達マネージャー - 広報マネージャー - リスク管理マネージャー - ポートフォリオ/ファンドマネージャー 【金融サービスのみ】 - ESG ポートフォリオ/ファンドマネージャー【金融サービスのみ】 - 投資アナリスト【金融サービスのみ】 - 責任投資専門スタッフ【金融サービスのみ】 - 投資家対応担当者【金融サービスのみ】 - リスク管理担当者【金融サービスのみ】 - バイヤー/パーチェイサー - すべての従業員 - その他（具体的にお答えください）						

回答行を追加する

実績指標(4 番目の列)

- 取締役会による気候移行計画の承認 - 株主による気候移行計画の承認 - 気候移行計画の達成度の KPI - 気候関連目標に向けた進展 - 気候関連目標の達成 - 排出削減イニシアティブの実施 - 総量削減 - 排出原単位の削減 - エネルギー効率の向上	- 気候関連問題に対するサプライヤーとの協働の増大 - 気候関連問題に対する顧客との協働の増大 - 気候関連問題に対するクライアントとの協働の増大 [金融サービスのみ] 気候関連問題に対する投資先企業との協働の増大 [金融サービスのみ] 気候関連要件に準拠するサプライヤーのコンプライアンス強化/バリューチェーンの可視化向上(トレーサビリティ、マッピング、透明性) - 気候関連持続可能性インデックスに対する企業業績(例: DJSI、CDP 気候変動スコア)気候関連問題に関する従業員意識キャンペーンまたはトレーニングプログラムの実施 - 気候関連の目標に対するポートフォリオ/ファンドの連携の増加 [金融サービスのみ] - その他、具体的にお答えください
--	---

● 総エネルギー消費量における低炭素エネルギーの割合拡大 ● 総エネルギー消費量における再生可能エネルギーの割合拡大 ● 総エネルギー消費量の削減 ● 低炭素 R&D への投資増大 ● 製品/サービス・ポートフォリオにおける低炭素製品/サービスによる売上の割合拡大	
--	--

C1.3a - 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

得点を獲得するためには、次の条件を満たす必要があります。

質問 C1.3 で [はい] を選択し、かつ

[インセンティブを受ける対象] または [実績指標] の欄で [その他、具体的にお答えください] を除くいずれかの選択肢を選択

i) [インセンティブを受ける対象] 欄で、[バイヤー/購買担当者] または [すべての従業員] を選択し、かつ[インセンティブの種類]欄で [金銭的報酬・褒賞] を選択している- 2 点

または

[インセンティブを受ける対象] 欄で、[バイヤー/購買担当者] または [すべての従業員] を選択し、かつ[インセンティブの種類]欄で [非金銭的報酬・褒賞] を選択している- 1 点

ii) [インセンティブを受ける対象] 欄で、[最高調達責任者(CPO)] [最高財務責任者(CFO)] [調達マネージャー] のいずれかを選択し、かつ [インセンティブの種類] 欄で [金銭的報酬・褒賞] を選択している- 2 点

または

[インセンティブを受ける対象] 欄で、[最高調達責任者(CPO)] [最高財務責任者(CFO)] [調達マネージャー] のいずれかを選択し、かつ[インセンティブの種類]欄で [非金銭的報酬・褒賞] を選択している- 1 点

iii) [実績指標] 欄で、[気候関連問題に対するサプライヤーとの協働の増大] [気候関連要件に準拠するサプライヤーのコンプライアンス強化] [バリューチェーンの可視化向上(トレーサビリティ、マッピング、透明性)] のいずれかを選択肢、かつ[インセンティブの種類]欄で [金銭的報酬・褒賞] を選択している- 2 点

配点

得点	配点
6	6

(C3.1) 貴社の戦略には、1.5℃の世界に整合した移行計画が含まれていますか？

回答形式

以下の表に回答してください。

気候移行計画	公表されている気候移行計画	貴社の気候移行計画に関して株主からフィードバックが収集される仕組み	フィードバックの仕組みの説明	フィードバック収集の頻度	貴社の気候移行計画を詳述した関連文書を添付してください (任意)	貴社が、世界の気温上昇を1.5度以下に抑える気候移行計画を持っていない理由と、この先作成する予定があるかを説明してください	気候関連リスクと機会が貴社の事業戦略に影響を及ぼさなかった理由を説明してください
選択肢： ● はい。世界の気温上昇を1.5度以下に抑えるための気候移行計画があります。 ● いいえ。しかし、当社の戦略は気候変動に関連するリスクと機会の影響を受けており、2年以内に気候移行計画を作成する予定です。 ● いいえ。当社の戦略は気候変動に関連するリスクと機会の影響を受けていますが、2年以内に気候移行計画を作成する予定はありません。 ● いいえ。当社の戦略は、気候変動に関連するリスクと機会の影響を受けていません。	選択肢： ● はい ● いいえ	選択肢： ● 当社の気候移行計画は年次株主総会(AGMs)で投票が行われます。 ● 実施している別のフィードバックの仕組みがあります。 ● 当社の気候移行計画は AGMs で投票が行われ、実施している追加のフィードバックの仕組みもあります。 ● 実施しているフィードバックの仕組みはありませんが、今後2年以内に導入する予定です。 ● 実施しているフィードバックの仕組みはなく、さらに今後2年以内に導入する予定はありません。 ● 当社には株主がいないため、該当しません。	文章入力欄 [最大 2,500 文字]	選択肢： ● 年1回より多い頻度で ● 年1回 ● 年1回より少ない頻度で	[複数のファイルが添付可能な機能]	文章入力欄 [最大 2,500 文字]	文章入力欄 [最大 2,500 文字]

C3.1 - 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

[CDP 気候変動質問書スコアリング基準 2023](#) の C3.1 における マネジメントポイントが満点付与されている - 2 ポイント

配点

得点	配点
2	2

目標

排出目標

目標に関する評価の注意点

総量目標と原単位目標の両方の目標を報告している場合、全ての目標についてスコアリングし、最終スコア算出において最も高評価となる回答を最終的に採用します。（C4.1a または C4.1b のどちらか）

(C4.1) 報告年に有効な排出量目標はありましたか？

回答形式

以下の選択肢から選択してください

- 総量目標
- 原単位目標
- ポートフォリオ目標【金融サービスのみ】
- 目標なし

C4.1 - 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

[目標なし] が選択されている - 1 ポイント中 0 ポイント

または

[目標なし] を除き、いずれかの選択肢が選択されている - 0 ポイント中 0 ポイント

配点

得点	配点
0	0 か 1

(C4.1a) 排出の総量目標と、その目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。

他の質問との関連性

C4.1 の回答で[総量目標]を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

回答形式

以下の表に回答を記入してください。読みやすくするために、数行の上に表が表示されます。表の下にある[回答行を追加]ボタンを押すことで、回答行を追加できます。

1	2	3	4	5	6	7
目標参照番号	これは科学的根拠に基づいた目標ですか?	目標の野心度*	目標導入年	目標の対象範囲	スコープ	スコープ 2 算定方法
Abs1～Abs100	以下のドロップダウン選択枝から選択します	選択枝： 1.5℃目標に整合済み 2℃を大きく下回る目標に整合済み 2℃目標に整合済み - その他、具体的にお答えください	数値記入欄[1900～2023 の数字を入力]	選択枝： - 全社的事業部門 - 事業部門 - 事業活動 - 操業地/施設 - 国/地域/リージョン - 商品レベル - その他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択： - スコープ 1 - スコープ 2 - スコープ 3	選択枝： - ロケット基準 - マーケット基準

8	9	10	11	12-28	29	30
スコープ 3 カテゴリ	基準年	目標の対象となるスコープ 1 の基準年排出量 (CO2 換算トン)	目標の対象となるスコープ 2 の基準年排出量 (CO2 換算トン)	目標の対象となるスコープ 3、カテゴリ [...] の基準年排出量 (CO2 換算トン)* [スコープ 3 の各カテゴリに対して 1 列スコープ 3 の各カテゴリに対して 1 列]	目標の対象となる基準年スコープ 3 総排出量 (CO2 換算トン)	選択した全スコープの目標の対象となる基準年総排出量 (CO2 換算トン)
該当するものをすべて選択： - カテゴリ 1: 購入した商品およびサカテゴリ 2: 資本財 - カテゴリ 3: 燃料・エネルギー関連活動 (スコープ 1・2 に含まれない) - カテゴリ 4: 上流の輸送および物流 - カテゴリ 5: 操業で発生した廃棄物 - カテゴリ 6: 出張	数値記入欄[1900～2023 の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第 3 位を用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第 3 位を用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第 3 位を用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第 3 位を用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第 3 位を用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]

8	9	10	11	12-28	29	30
スコープ 3 カテゴリー	基準年	目標の対象となるスコープ 1 の基準年排出量 (CO2 換算トン)	目標の対象となるスコープ 2 の基準年排出量 (CO2 換算トン)	目標の対象となるスコープ 3、カテゴリー [...] の基準年排出量 (CO2 換算トン)* [スコープ 3 の各カテゴリーに対して 1 列スコープ 3 の各カテゴリーに対して 1 列]	目標の対象となる基準年スコープ 3 総排出量 (CO2 換算トン)	選択した全スコープの目標の対象となる基準年総排出量 (CO2 換算トン)
- カテゴリー7: 従業員の通勤 - カテゴリー8: 上流のリース資産 - カテゴリー9: 下流の輸送および物流 - カテゴリー10: 販売製品の加工 - カテゴリー11: 販売製品の使用 - カテゴリー12: 販売製品の生産終了処理 - カテゴリー13: 下流のリース資産 - カテゴリー14: フランチャイズ - カテゴリー15: 投資[金融サービスには表示されません] - その他(上流) - その他(下流)						

31	32	33-49	50	51
基準年のスコープ 1 総排出量に対する、目標が対象とするスコープ 1 排出量の割合	基準年のスコープ 2 総排出量に対する、目標が対象とするスコープ 2 排出量の割合	スコープ 3、カテゴリー [...] の基準年総排出量のうち、目標の対象となる基準年スコープ 3、カテゴリー [...] 排出量の割合(CO2 換算トン)* [スコープ 3 の各カテゴリーに対して 1 列スコープ 3 の各カテゴリーに対して 1 列]	基準年のスコープ 3 総排出量に対する、目標が対象とするスコープ 3 排出量の割合 (すべてのスコープ 3 カテゴリー)	選択した全スコープの基準年総排出量のうち、選択した全スコープの目標の対象となる基準年排出量の割合
パーセンテージ記入欄 [小数点以下 3 までを使用して、0～100 の%を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 3 までを使用して、0～100 の%を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 3 までを使用して、0～100 の%を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 3 までを使用して、0～100 の%を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 3 までを使用して、0～100 の%を入力]

52	53	54	55	56	57-73	74
目標年	基準年からの目標削減率 (%)	選択したすべてのスコープにおいて、目標が対象とする目標年の総排出量 (CO2 換算トン CO2 換算トン) [自動計算されます]	目標の対象となる報告年のスコープ 1 排出量 (CO2 換算トン CO2 換算トン)	目標の対象となる報告年のスコープ 2 排出量 (CO2 換算トン CO2 換算トン)	目標の対象となる報告年のスコープ 3、カテゴリ [...] の排出量 (CO2 換算トン CO2 換算トン) [スコープ 3 の各カテゴリに対して 1 列スコープ 3 の各カテゴリに対して 1 列]	目標の対象となる報告年のスコープ 3 の総排出量 (CO2 換算トン CO2 換算トン)
数値記入欄 [2018～2100 の数字を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用して、0～100 の%を入力]	数値記入欄 [0～ 999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 3 桁までを用いて、コンマなしで 0～ 999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 3 桁までを用いて、コンマなしで 0～ 999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 3 桁までを用いて、コンマなしで 0～ 999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 3 桁までを用いて、コンマなしで 0～ 999,999,999,999 の数字を入力]
75	76	77	78	79	80	81
選択したすべてのスコープにおいて、目標が対象とする報告年の 総排出量 (CO2 換算トン CO2 換算トン)	この目標は、土地関連の排出量も対象にしていますか。	基準年に対して達成された目標の割合 [自動計算されます]	報告年の目標の状況	目標対象範囲を説明し、除外事項を明確にしてください	目標達成に向けた計画、および報告年度末までの進捗状況	目標の達成に最も貢献した排出量削減イニシアティブを列挙してください
数値記入欄 [小数点以下 3 桁までを用いて、コンマなしで 0～ 999,999,999,999 の数字を入力]	選択肢： - はい、土地関連の排出量のみ対象としています(例: FLAG SBT) - はい、土地関連および土地関連以外の排出量を対象としています(例: FLAG 目標設定ガイダンス発行前に承認された SBT) - はい、土地関連の CO2 排出量/バイオエネルギーや土地関連以外の排出量と関連した削減(例: バイオエネルギーによる非 FLAG SBT) - いいえ、土地関連の排出量を対象としていません(例: 非 FLAG SBT)	割合 (%) 記入欄	選択肢： - 新規 - 設定中 - 達成済み - 有効期限切れ - 改訂 - 置き換えた - 取り下げた	文章入力欄 [最大 2,500 文字]	文章入力欄 [最大 2,500 文字]	文章入力欄 [最大 2,500 文字]

[回答行を追加]

* [これは科学的根拠に基づいた目標(SBT)ですか]欄で[はい...]の選択肢のいずれかを選択した場合にのみ、この欄が表示されます。

[科学的根拠に基づいた排出削減目標ですか](2 番目の列)ドロップダウン選択肢:

以下の選択肢のうちから 1 つを選択します:

- はい、この目標は科学的根拠に基づいた目標イニシアティブ (SBTi) の承認を受けている

- はい、これが科学的根拠に基づいた目標と認識しており、現在目標は SBT イニシアティブにより審査中です
- はい、これが科学的根拠に基づいた目標と認識しており、今後 2 年以内に SBT イニシアティブによるこの目標の審査を求めることをコミットしました
- はい、これは科学的根拠に基づいた目標と認識していますが、今後 2 年以内の SBT イニシアティブによるこの目標の審査の申請はコミットしていません
- いいえ、しかし別の科学的根拠に基づく目標を報告しています
- いいえ、しかし、今後 2 年以内に設定する予定です
- いいえ、そして今後 2 年以内に設定する予定もありません

C4.1a - 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

得点を獲得するには以下の条件をすべて満たす必要があります：

C4.1 の回答で [目標なし]を除き、いずれかの選択肢が選択されている

[スコープ] および [目標年]の両方が回答されている

i) [CDP 気候変動質問書スコアリング基準 2023](#) における質問 C4.1a に対して付与されるリーダーシップポイントごとに、最大 3 ポイントが付与されます。

ii) 列 [スコープ 3 カテゴリー] で [カテゴリー 1：購入した商品およびサービス] が選択されている場合 - 2 点

または

[スコープ 3 カテゴリー]で、下記のいずれかの回答を選択されている場合 - 1 点

- カテゴリー2：資本財
- カテゴリー3：燃料・エネルギー関連の活動（スコープ 1、2 に含まれない）
- カテゴリー4：上流における輸送・流通
- カテゴリー5：産業廃棄物
- カテゴリー6：出張
- カテゴリー7：従業員の通勤
- カテゴリー8：上流におけるリース資産

CDP 気候変動質問書 2023 の全体スコアが C 以下の場合、基準 (i) について 3 点満点中の 0 点となります。

（金融サービスのみ）：金融サービス企業は、2023 年サプライヤーエンゲージメント評価基準の (i) について、2 ポイント中で採点されます。2023 年 CDP 気候変動金融サービス評価基準の質問 C4.1a を参照してください。そのため、CDP 気候変動質問書 2023 の全体スコアが C 以下の場合、基準 (i) について 2 点満点中 0 点となります。

配点

得点	配点
4 か 5	4 か 5

(C4.1b) 貴社の排出量原単位目標と、その目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。

他の質問との関連性

C4.1 の回答で [原単位目標] を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

回答形式

以下の表に回答してください。読みやすくするため、ここでは複数の行に渡って表示しています。[行を追加] をクリックして、回答行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
目標参照番号	これは科学的根拠に基づいた目標ですか？	目標の野心度*	目標導入年	目標の対象範囲	スコープ	スコープ 2 算定方法	スコープ 3 カテゴリー	原単位指標
Int1-Int100	以下のドロップダウン選択枝から選択します	選択枝： 1.5℃目標に整合済み 2℃を大きく下回る目標に整合済み 2℃目標に整合済み - その他、具体的にお答えください	数値記入欄 [1900～2023 の数字を入力]	選択枝： - 全社的事業部門 - 事業部門 - 事業活動 - 操業地/施設 - 国/地域/リージョン - 商品レベル - その他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択： - スコープ 1 - スコープ 2 - スコープ 3	選択枝： - ロケット基準 - マーケット基準	該当するものをすべて選択： - カテゴリー 1: 購入した商品およびサカテゴリー 2: 資本財 - カテゴリー 3: 燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1・2 に含まれない) - カテゴリー 4: 上流の輸送および物流 - カテゴリー 5: 操業で発生した廃棄物 - カテゴリー 6: 出張 - カテゴリー 7: 従業員の通勤 - カテゴリー 8: 上流のリース資産 - カテゴリー 9: 下流の輸送および物流 - カテゴリー 10: 販売製品の加工 - カテゴリー 11: 販売製品の使用 - カテゴリー 12: 販売製品の生産終了処理 - カテゴリー 13: 下流のリース資産 - カテゴリー 14: フランチャイズ - カテゴリー 15: 投資[金融サービスには表示されません] - その他(上流) - その他(下流)	以下のドロップダウン選択枝から選択します

10	11	12	13-29	30	31	32	33
基準年	スコープ 1 の基準年の原単位 数値（単位活動量あたりの CO2 換算トン）	スコープ 2 の基準年の原単位 数値（単位活動量あたりの CO2 換算トン）	スコープ 3 の基準年の原単位 数値、カテゴリ [...]（単位活 動量あたりの CO2 換算トン）* [スコープ 3 の各カテゴリに対 して 1 列]	スコープ 3 の基準年の合計原 単位数値（活動単位あたりの CO2 換算トン）	選択した全スコープの基準年の 原単位数値（活動単位あたり の CO2 換算トン）	このスコープ 1 原単位 数値で対象となるスコ ープ 1 の基準年総排 出量に占める割合 （%）	このスコープ 2 原単位 数値で対象となるスコ ープ 2 の基準年総排 出量に占める割合 （%）
数値記入欄 [1900～2023 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用い て、コンマなしで 0～ 999,999,999,999 の数字を 入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用い て、コンマなしで 0～ 999,999,999,999 の数字を 入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用い て、コンマなしで 0～ 999,999,999,999 の数字を 入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用い て、コンマなしで 0～ 999,999,999,999 の数字を 入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用い て、コンマなしで 0～ 999,999,999,999 の数字を 入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁まで を使用して、0～100 の%を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁まで を使用して、0～100 の%を入力]

34-50	51	52	53	54	55	56	57
このスコープ 3、カテゴリ [...]原単位数値*で、対象と するスコープ 3、カテゴリ [...]の基準年総排出量に占 める割合 [スコープ 3 の各カ テゴリに対して 1 列]	このスコープ 3 の合計原単位 数値で対象となるスコープ 3(すべてのスコープ 3 カテゴリ -) の基準年総排出量のうち の割合	この原単位数値で対象となる 選択した全スコープの基準年 総排出量の割合	目標年	基準年からの目標削減 （%）	選択したすべてのス コープの目標年度の 原単位数値 (活動単位あたりの CO2 換算トン) [自動計算されます]	スコープ 1+2 総量排出量で 見込まれる変化率	スコープ 3 総量排出量で見込 まれる変化率
パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用 して、0～100 の%を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用 して、0～100 の%を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用 して、0～100 の%を入力]	数値記入欄[2018 ～2100 の数字を 入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用 して、0～100 の%を入力]	数値記入欄 [0～ 999,999,999,999 の数字を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用し て、-999～999 の%を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用し て、-999～999 の%を入力]

58	59	60-76	77	78	79	80	81
スコープ 1 の報告年における原単位数値(活動単位あたりの CO2 換算トン)	スコープ 2 の報告年における原単位数値 (活動単位あたりの CO2 換算トン)	スコープ 3 の報告年における原単位数値、カテゴリー [...] (単位活動量あたりの CO2 換算トン)* [スコープ 3 の各カテゴリーに対して 1 列]	合計スコープ 3 の報告年の原単位数値 (活動単位あたりの CO2 換算トン)	選択したすべてのスコープの報告年における原単位数値 (単位活動量あたりの CO2 換算トン)	この目標は、土地関連の排出量も対象にしていますか。	基準年に対する目標達成率 [自動計算]	報告年の目標進捗状況
数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	選択肢： - はい、土地関連の排出量のみ対象としています(例: FLAG SBT) - はい、土地関連および土地関連以外の排出量を対象としています(例: FLAG 目標設定ガイダンス発行前に承認された SBT) - はい、土地関連および土地関連以外の排出量を対象としています(例: FLAG 目標設定ガイダンス発行前に承認された SBT) - いいえ、土地関連の排出量を対象としません(例: 非 FLAG SBT)	パーセンテージ記入欄	選択肢： - 新規 - 設定中 - 達成済み - 有効期限切れ - 改訂 - 置き換えた - 取り下げた

82	83	84
目標対象範囲を説明し、除外事項を明確にしてください	目標達成に向けた計画、および報告年度末までの進捗状況	目標の達成に最も貢献した排出量削減イニシアティブを列挙してください
文章入力欄 [最大 5000 文字]	文章入力欄 [最大 2,400 文字]	文章入力欄 [最大 2,400 文字]

[回答行を追加]

* この列は [これは科学的根拠に基づいた目標ですか?] で、[はい] から続くオプションの 1 つを選択した場合にのみ表示されます。*

単位欄の選択肢

以下の選択肢から選択してください:

- グラム CO2 換算/売上旅客キロ
- CO2 換算トン /USD(\$)付加価値
- CO2 換算トン /平方メートル
- CO2 換算トン /アルミニウムのトン
- CO2 換算トン /鋼鉄のトン

- CO2 換算トン /セメントのトン
- CO2 換算トン /段ボールのトン
- グラム CO2 換算/キロメートル
- CO2 換算トン /単位売上
- CO2 換算トン /単位フルタイム換算(正社員数)
- CO2 換算トン /単位勤務時間
- CO2 換算トン /製品のトン
- CO2 換算トン /製品のリットル
- CO2 換算トン /生産単位
- CO2 換算トン/提供サービス単位
- CO2 換算トン /平方フィート
- CO2 換算トン /キロメートル
- CO2 換算トン /旅客キロメートル
- CO2 換算トン /メガワット時(MWh)
- CO2 換算トン /石油換算バレル(BOE)
- CO2 換算トン /生産した車両数
- CO2 換算トン /処理された鉱石のトン
- CO2 換算トン /1 オンスの金
- CO2 換算トン/プラチナ 1 オンス
- CO2 換算トン/骨材 1 トン
- CO2 換算トン/10 億(通貨単位)の運用資産
- その他 (具体的にお答えください)

【科学的根拠に基づいた排出削減目標ですか？】 欄の選択肢:

以下の選択肢から選択してください:

- はい。[科学的根拠に基づく目標] (SBT)イニシアティブにより、この目標は科学的知見と整合した目標として承認されています。
- はい。この目標は科学的根拠に基づく目標であり、現在 [科学的根拠に基づく目標] (SBT)イニシアティブの検証を受けています。
- はい。この目標は科学的根拠に基づく目標と考えており、今後 2 年以内に [科学的根拠に基づく目標] (SBT)イニシアティブによる検証を求めることをコミットしています。
- はい、これは科学的根拠に基づいた目標と認識していますが、今後 2 年以内の SBT イニシアティブによるこの目標の審査の申請はコミットしていません
- いいえ。しかし、科学的根拠に基づく別の目標を報告しています。
- いいえ。しかし、今後 2 年間に設定する予定です。
- いいえ。また今後 2 年以内に設定する予定はありません。

C4.1b – 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

得点を獲得するには以下の条件をすべて満たす必要があります：

C4.1 の回答で [目標なし]を除き、いずれかの選択肢が選択されている

[スコープ] および [目標年] の両方に回答されている

i) [CDP 気候変動質問書スコアリング基準 2023](#) における質問 C4.1b に対して付与されるリーダーシップポイントごとに、最大 3 ポイントが付与されます。

ii) 列 [スコープ 3 カテゴリー] で [カテゴリー 1： 購入した商品およびサービス] が選択されている場合 - 2 点

または

[スコープ 3 カテゴリー]で、下記のいずれかの回答を選択されている場合 - 1 点

- カテゴリー2： 資本財
- カテゴリー3： 燃料・エネルギー関連の活動（スコープ 1、2 に含まれないもの）
- カテゴリー4： 上流における輸送・流通
- カテゴリー5： 産業廃棄物
- カテゴリー6： 出張
- カテゴリー7： 従業員の通勤
- カテゴリー8： 上流におけるリース資産

CDP 気候変動質問書 2023 の全体スコアが C 以下の場合、基準 (i) について 3 点満点中の 0 点となります。

（金融サービスのみ）：金融サービス企業は、2023 年サプライヤーエンゲージメント評価基準の (i) について、2 ポイントスコアリングされます。2023 年 CDP 気候変動金融サービス評価基準の質問 C4.1a を参照してください。
そのため、CDP 気候変動質問書 2023 の全体スコアが C 以下の場合、基準 (i) について 2 点満点中 0 点となります。

配点

得点	開示配点
4 か 5	4 か 5

(C4.2) 報告年に有効なその他の気候関連目標を設定しましたか？

回答選択肢

以下の選択肢から該当するものをすべて選択：

- 低炭素エネルギー消費または生産を増加させる目標
- メタン排出量削減目標
- ネットゼロ目標
- その他の気候関連目標
- その他の気候関連目標はない

C4.2 – 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

C4.1 の回答で [目標なし]および [その他の気候関連目標はない] を選択されている場合、1 点満点中の 0 点となります
[スコープ] および [目標年] 両方回答されている

または

ほかの選択肢を選択されている場合、0/0 点となります。

配点

得点	配点
0	0 か 1

(C4.2b) メタン排出量削減目標を含む、その他の気候関連目標の詳細を記入してください。

他の質問との関連性

C4.2 の回答で [その他の気候関連目標] または [メタン排出量削減目標] を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

回答選択肢

以下の表に回答してください。読みやすくするため、ここでは複数の行に渡って表示しています。[行を追加] をクリックして、回答行を追加することができます。

1	2	3	4	5a	5b	6
目標参照 番号	目標を設定した年	目標の対象範囲	目標の種類: 絶対 値または原単位	目標の種類: カテゴリー	測定基準（原単位目標を報告する場合は 目標の分子）	目標分母（原単位目標のみ）
Oth1 – Oth100	数値記入欄[1900～2023 の数 字を入力]	選択肢： - 全社的事業部門 - 事業部門 - 事業活動 - 事業活動 - 国/地域/リージョン - 商品レベル - その他、具体的にお答えくださ い	選択肢： - 絶対値 - 原単位	選択肢： - エネルギー生産性 - エネルギー消費または効率 - 再生可能燃料生産 - 再生可能燃料消費 - 廃棄物管理 - 資源消費または効率 - 低炭素車 - 低炭素建築物 - 土地利用転換 - メタン削減目標 - 化石燃料削減目標 - サプライヤーとのエンゲージメント - 顧客とのエンゲージメント - 研究開発投資 - グリーンファイナンス - その他、具体的にお答えください	以下のドロップダウン選択肢から選択します	以下のドロップダウン選択肢から選択しま す

7	8	9	10	11	12
基準年	基準年の数値または比率	目標年	目標年の数値または比率	報告年の数値または比率	基準年に対して達成された目標の割合 [自動計算されます]
数値記入欄 [1900～2023 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [2018～2100 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999,999 の数字を入力]	パーセンテージ記入欄

13	14	15	16	17	18
報告年の目標進捗状況	この目標は排出量目標の一部ですか？	この目標は包括的イニシアティブの一部ですか？	対象範囲を説明し、除外項目があれば明らかにしてください	目標達成のための計画、および報告年度末までの進捗状況	目標達成のための計画、および報告年度末までの進捗状況、この目標の達成に最も貢献したアクションを挙げてください
選択肢： - 新規 - 設定中 - 達成済み - 有効期限切れ - 改訂 - 置き換えた - 取り下げた	文章記入欄 [最大 2,400 文字] [排出量削減目標 ID]	該当するものをすべて選択： - EP100 - EV100 - Below50 – 持続可能燃料 - 科学的根拠に基づく目標イニシアティブ（SBTi） - 承認されたサプライヤーエンゲージメントのターゲット - 科学的根拠に基づく目標イニシアティブ（SBTi） - 承認された顧客エンゲージメントのターゲット - 科学的根拠に基づく目標イニシアティブ（SBTi） - その他 - 短寿命気候汚染物質（SLCPs）の削減 - 森林破壊をなくす - 低炭素技術パートナーシップイニシアティブの取り組み - いいえ、包括的なイニシアティブの一部ではありません - その他、具体的にお答えください	文章入力欄 [最大 2,400 文字]	文章入力欄 [最大 2,500 文字]	文章入力欄 [最大 2,500 文字]

[回答行を追加]

測定基準(原単位目標を報告する場合は目標の分子)ドロップダウン選択肢:

以下の選択肢のうちから 1 つを選択します:

エネルギー生産性

- GDP
- 米ドル付加価値
- 売上単位
- 金重量(オンス)
- プラチナ重量(オンス)
- 骨材重量(メートルトン)
- アルミニウム重量(メートルトン)
- 鉄鋼重量(メートルトン)
- セメント重量(メートルトン)
- 段ボール重量(メートルトン)
- 製品重量(メートルトン)
- 処理された鉱石重量(メートルトン)
- 平方メートル
- キロメートル
- 旅客キロ
- 売上旅客キロ
- 製品量(リットル)
- 生産単位
- 提供されたサービスの単位
- 平方フィート
- メガワット時(MWh)
- 石油換算バレル(BOE)
- 石油換算トン(TOE)
- 石炭換算トン(TCE)
- その他、具体的にお答えください

エネルギー消費または効率

- kWh
- MWh
- GJ
- 百万 Btu
- boe
- toe
- tce
- Gcal
- その他、具体的にお答えください

低炭素建築物

- ネットゼロカーボンビルの割合
- ネットゼロエネルギービル (ZEB) の割合
- グリーンビルディング認証 (GB 認証) を有するビルの割合
- その他、具体的にお答えください

土地利用転換

- 森林再生された面積(ヘクタール)
- 植林された面積(ヘクタール)
- 復元された面積(ヘクタール)
- 総森林減少ゼロに準拠したサプライチェーンの比率
- その他、具体的にお答えください

メタン削減目標

- メタン排出量(立方メートル)
- メタン漏出量(立方メートル)
- 燃焼したメタンの量(立方メートル)
- メタン総排出量(m3)
- メタン総排出量(CO2 換算値)
- メタン漏出率(%)
- その他、具体的にお答えください

化石燃料削減目標

- 消費された天然ガスの量(立方メートル)
- 消費された石炭の量(メートルトン)
- 消費された石油の量(バレル)
- 燃料ミックスのうちの化石燃料の比率
- その他、具体的にお答えください

サプライヤーとのエンゲージメント

- GHG 排出量を開示しているサプライヤーの比率
- GHG 排出量を開示しているサプライヤーの比率 (調達額ベース)
- 排出量削減目標を設定しているサプライヤーの比率 (排出量ベース)
- 排出量削減目標を設定しているサプライヤーの比率 (調達額ベース)
- 科学的根拠に基づいた目標を設定しているサプライヤーの比率 (排出量ベース)

再生可能燃料生産 ● 固形バイオマス重量(メートルトン) ● 液体バイオ燃料量(リットル) ● バイオガス量(立方メートル) ● 水素量(立方メートル) ● その他、具体的にお答えください 再生可能燃料消費 ● 固形バイオマス重量(メートルトン) ● 液体バイオ燃料量(リットル) ● バイオガス量(立方メートル) ● 水素量(立方メートル) ● 再生可能資源からの総燃料消費量の比率 ● その他、具体的にお答えください 廃棄物管理 ● 埋立地から転換される廃棄物重量(メートルトン) ● リサイクル（再資源化）される廃棄物重量(メートルトン) ● リユース（再利用）される廃棄物重量(メートルトン) ● 発生廃棄物重量(メートルトン) ● リサイクルされる総発生廃棄物の比率 ● 埋立廃棄物ゼロの事業所の割合 ● その他、具体的にお答えください 資源消費または効率 ● 再生資源または認定持続可能資源からの紙の比率 ● 消費された紙重量(メートルトン) ● 再来資源からのプラスチックの比率 ● 消費されたプラスチック重量(メートルトン) ● 再生資源または認定持続可能資源からの包材の比率 ● 消費された包材重量(メートルトン) ● その他、具体的にお答えください 低炭素車 ● 会社保有車両のうちの低炭素車の比率 ● 販売した車両のうちの低炭素車の比率 ● バイオ燃料を使用する会社保有車両の比率	● 科学的根拠に基づいた目標を設定しているサプライヤーの比率（調達額ベース） ● 気候関連問題に積極的に取り組んでいるサプライヤーの比率（排出量ベース） ● 気候関連問題に積極的に取り組んでいるサプライヤーの比率（調達額ベース） ● その他、具体的にお答えください 顧客とのエンゲージメント ● GHG 排出量を開示している顧客の比率（排出量ベース） ● 排出量削減目標を設定している顧客の比率（排出量ベース） ● 科学的根拠に基づいた目標を設定している顧客の比率（排出量ベース） ● 気候関連問題に積極的に取り組んでいる顧客の比率（排出量ベース） ● その他、具体的にお答えください 研究開発投資 ● 低炭素製品/サービスの研究開発投資の、対年間売上比率 ● 低炭素製品/サービスの研究開発に投資された金額(米ドル) ● 低炭素製品/サービスに特化した研究開発予算/ポートフォリオの比率 ● その他、具体的にお答えください グリーンファイナンス ● グリーンボンド発行残高の総額（グリーンボンド比率） ● グリーンボンドの比率 ● グリーン債務商品の発行残高の総額（グリーン債券比率） ● グリーン債務証書の比率 ● グリーンファイナンスの調達・促進（通貨建てで示す） ● グリーン投資（通貨建てで示す） ● グリーン投資の比率 ● その他、具体的にお答えください
--	--

● 会社保有車両のうちのバッテリー式電気自動車の比率 ● 会社保有車両のうちの従来型ハイブリッド車の比率 ● 会社保有車両のうちのプラグイン・ハイブリッド車の比率 ● 会社保有車両のうちの燃料電池式電気自動車の比率 ● 電気自動車インフラを備える会社施設の比率 ● その他、具体的にお答えください	
---	--

目標分母(原単位目標のみ)ドロップダウン選択肢:

以下の選択肢のうちから 1 つを選択します:

- KWh
- MWh
- GJ
- Btu
- boe
- toe
- tce
- Gcal
- 売上旅客キロ
- 米ドル付加価値
- 平方メートル
- アルミニウム重量(メートルトン)
- 鉄鋼重量(メートルトン)
- セメント重量(メートルトン)
- 段ボール重量(メートルトン)
- 単位売上
- 単位 FTE（フルタイム当量）従業員
- 単位当たりの勤務時間
- 製品重量(トン)
- 製品量(リットル)
- 生産単位
- 提供されたサービスの単位
- 平方フィート
- キロメートル
- 乗客キロメートル
- メガワット時(MWh)
- 石油換算バレル(BOE)
- 生産車両数
- 処理された鉱石重量(メートルトン)
- 金重量(オンス)

- プラチナ重量(オンス)
- 骨材重量(メートルトン)
- 10 億（通貨単位）の運用資金
- ヘクタル
- 廃棄物重量(メートルトン)
- 燃料重量(リットル)
- 年
- 報告対象期間終了時の発行済み債券残高の合計額
- 報告対象期間終了時の借入金残高の合計額
- その他、具体的にお答えください

C4.2b - 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

[ルート A]

得点を獲得するには以下の欄を回答しなければいけません:

質問 C4.2 の回答に [その他の気候変動関連目標] を選択され、かつ下記すべての項目が回答されている場合。

- 目標の種類：カテゴリー
- 目標年
- 目標年の数値または比率

[目標の種類：カテゴリー]で [サプライヤーとのエンゲージメント] が選択されている場合 - 2 点

または

[ルート B]

C4.2 において、[ネットゼロ目標] を選択されている場合 - 0/0 ポイント

配点

得点	配点
0 か 2	0 か 2

スコープ 3 排出量

スコープ 3 排出量データ

(C6.5) 貴社のスコープ 3 排出量を算定し、除外項目がある場合にはそれを開示、説明してください。

回答形式

以下の表に回答してください。

スコープ 3 カテゴリー	評価状況	報告年の排出量（CO2 換算トン）	排出量計算方法	サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合	説明してください
購入した商品およびサービス	選択肢: - 関連性あり、算定済み - 関連しているが、算定していない - 関連性なし、算定済み - 関連性がない。理由の説明 - 関連性を評価していない	数値記入欄 [最大小数点第 3 位を用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	該当するものを全て選択してください。 - サプライヤー固有の手法 - ハイブリッド（複合）手法 - 平均データ手法 - 支出額に基づいた手法 - 平均的製品手法 - 平均支出に基づいた手法 - 燃料に基づいた手法 - 距離に基づいた手法 - 廃棄物の種類特有の手法 - 資産特有の手法 - 賃貸資産特有の手法 - 拠点特有の手法 - 使用段階の直接的排出量に関する方法、具体的にお答えください - 使用段階の間接的排出量に関する方法、具体的にお答えください - フランチャイズ特有の手法 - 投資特有の手法 - その他、具体的にお答えください	数値記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用して、コンマなしで 0～100 の数字を入力]	文章記入欄 [最大 2,400 文字]

資本財					
燃料およびエネルギー関連活動(スコープ 1 または 2 に含まれない)					
上流の輸送および物流					
産業廃棄物					
出張					
従業員の通勤					
上流のリース資産					
下流の輸送および物流					
販売製品の加工					
販売製品の使用					
販売製品の使用後の廃棄処理					
下流のリース資産					
フランチャイズ					
投資 [金融セクターでは行が非表示、C- FS14.1a で要求されたデータポイント]					
その他(上流)					
その他(下流)					

C6.5 - 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

i) [購入した商品およびサービス] の行において、[評価状況] では[関連性あり、算定済み] が選択され、かつ、[報告年度の排出量（メートル トン CO2e）] と [排出量計算方法] が回答されている 0.5 点

ii) 点数は基準 (ii) の行ごとに付与されます。

[評価状況]において [関連性あり、算定済] または[関連性なし、算定済] が選択されており、かつ、

[報告年度の排出量（メートル トン CO2e）]と[排出量計算方法]が下記の行において回答されている - 0.5 点

- 資本財
- 燃料・エネルギー関連の活動（スコープ 1、2 に含まれない）
- 上流における輸送・流通
- 産業廃棄物
- 出張
- 従業員の通勤
- 上流におけるリース資産

または

[評価状況] において [関連性がない。理由の説明] が選択され、かつ、[説明してください] において文章での回答が以下の行でされている 0.25 点

- 資本財
- 燃料・エネルギー関連の活動（スコープ 1、2 に含まれない）
- 上流における輸送・流通
- 産業廃棄物
- 出張
- 従業員の通勤
- 上流におけるリース資産

または

上記以外 - 0 点

本質問の最終スコアは、下記の項目における個々のスコアの合計となります。

- 購入した商品およびサービス
- 資本財
- 燃料・エネルギー関連の活動（スコープ 1、2 に含まれない）
- 上流における輸送・流通
- 産業廃棄物
- 出張
- 従業員の通勤
- 上流におけるリース資産

配点

得点	配点
4	4

検証

スコープ 3 排出量の検証

(C10.1) 貴社が報告した排出量に適用される検証/保証の状況を示してください。

回答形式

以下の表に回答してください。

スコープ	検証/保証状況
スコープ 1	選択肢: - 排出量データの提供なし - 第三者検証/保証はない - 第三者検証/保証のプロセスがある
スコープ 2 (ロケーション基準、または、マーケット基準)	選択肢: - 排出量データの提供なし - 第三者検証/保証はない - 第三者検証/保証のプロセスがある
スコープ 3	選択肢: - 排出量データの提供なし - 第三者検証/保証はない - 第三者検証/保証のプロセスがある

C10.1 – 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

[スコープ 3] について、 [検証/保証状況] 欄で、[第三者検証/保証プロセスがある] と回答している – 1 点

配点

得点	配点
1	1

(C10.1c) スコープ 3 排出量に対して行われた検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください。

他の質問との関連性

C10.1 の回答でスコープ 3 排出量に関して[第三者検証または保証を実施]を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

回答形式

以下の表に回答を記入してください。表の下にある[回答行を追加]ボタンを押すことで、回答行を追加できます。

スコープ 3 カテゴリー	検証/保証の実施サイクル	報告年における検証/保証取得状況	検証/保証の種別	声明書を添付	ページ/章	関連する規格	検証された報告排出量の割合 (%)
該当するものをすべて選択: - スコープ 3: 購入した 商品およびサー ビス - スコープ 3: 資本財 - スコープ 3: 燃料およびエネルギー関連活動(スコープ 1 または 2 に含まれな い) - スコープ 3: 上流の輸送および物流	選択肢 : - 年 1 回のプロセス - 隔年のプロセス 3 年に 1 回のプロセス	選択肢 : - 本報告年の検証または保証はない - 作成中で、本報告年に関しては完了していません - 実施初年度 - 報告年の検証/保証を取得中で完了して	選択肢 : - 該当なし - 限定的保証 - 中位の保証 - 合理的保証 - 高位の保証 - 第三者の検証/保証実施中	文書をここに添付します	文章入力欄 [最大 500 文字]	以下のドロップダウン選択肢から選択します	数値記入欄[小数点またはコンマを使用 せずに、0~100 の数字を入力]

スコープ 3 カテゴリー	検証/保証の実施サイクル	報告年における検証/保証取得状況	検証/保証の種別	声明書を添付	ページ/章	関連する規格	検証された報告排出量の割合 (%)
- スコープ 3: 操業で発生した廃棄物 - スコープ 3: 出張 - スコープ 3: 従業員の通勤 - スコープ 3: 上流のリース資産 - スコープ 3: 投資 - スコープ 3: 下流の輸送および物流 - スコープ 3: 販売製品の加工 - スコープ 3: 販売製品の使用 - スコープ 3: 販売製品の生産終了処理 - スコープ 3: 下流のリース資産 - スコープ 3: フランチャイズ		いない - 前年の検証書類を添付 完成					

[回答行を追加]

関連する標準ドロップダウン選択肢:

- AA1000AS
- ABNT NBR ISO 14064-3:2007 (Associação Brasileira de Normas Técnicas)
- Advanced technologies promotion Subsidy Scheme with Emission reduction Target (ASSET)
- Airport Carbon Accreditation (ACA) des Airports Council International Europe
- Alberta Technology Innovation and Emissions Reduction (TIER)
- ASAE3000
- 米国公認会計士協会 (AICPA) のアテステーション基準 (AT105)
- Australian National GHG emission regulation (NGER)
- California Mandatory GHG Reporting Regulations (CARB)
- カナダ勅許会計士協会(CICA)ハンドブック:保証セクション 5025
- カーボントラスト認証
- Chicago Climate Exchange (CCX) verification standard
- 気候変動対策レジストリの一般的検証プロトコル(別名、California Climate Action Registry(CCAR))
- Compagnie Nationale des Commissaires aux Comptes (CNCC)
- ERT による企業温室効果ガス検証ガイドライン
- DNV VeriSustain Protocol/ Verification Protocol for Sustainability Reporting
- Dutch Standard 3000A

- EarthCheck 認証
- ERM GHG Performance Data Assurance Methodology
- 欧州連合排出権取引システム(EU ETS)
- IDW PS 821:IDW Prüfungsstandard:Grundsätze ordnungsmäßiger Prüfung oder prüferischer Durchsicht von Berichtenim Bereich der Nachhaltigkeit
- IDW AsS 821:IDW Assurance Standard:サステナビリティ問題の報告の監査または審査に関する一般に認められている保証指針
- ISAE3000
- ISAE 3410
- ISO14064-1
- ISO14064-3
- 日本自主参加型国内排出量取引制度(JVETS)第三者検証ガイドライン
- 韓国 GHG およびエネルギー目標管理制度
- NMX-SAA-14064-3-IMNC: Instituto Mexicano de Normalización y Certificación A.C
- サステナビリティレポートの保証に関する RevR6 手順
- 埼玉県目標設定排出量取引プログラム
- SGS Sustainability Report Assurance
- スペイン公認会計士協会(ICJCE)
- SSAE 3000
- Standard 3810N Assurance engagements relating to sustainability reports of the Royal Netherlands Institute of Registered Accountants
- State of Israel Ministry of Environmental Protection, Verification of GHG and emissions reduction in Israel Guidance Document
- 企業に対するスイス気候 CO2 ラベル
- Thai Greenhouse Gas Management Organisation (TGO) Greenhouse Gas (GHG) Verification Protocol
- Toitū Envirocare's carbonreduce certification standard
- 東京都総量削減義務と排出量取引制度
- その他、具体的にお答えください
-

C10.1c - 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

[CDP 気候変動質問書スコアリング基準 2023](#) における質問 C10.1c に対するリーダーシップポイントごとにポイント付与される - 0.5 点

配点

得点	配点
0.5	0.5

サプライヤーとのエンゲージメント

バリューチェーンとのエンゲージメント

(C12.1) 気候関連問題に関してバリューチェーンとエンゲージメントしていますか？

回答形式

以下の選択肢から当てはまるものを全て選択してください:

- ・はい、サプライヤーと
- ・はい、顧客と
- ・はい、当社の投資先企業と [金融サービスのみ]
- ・はい、バリューチェーンの他のパートナーと
- ・いいえ、エンゲージメントしていません

C12.1 - 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

[はい、サプライヤーと] を選択 - 1 点

サプライヤーエンゲージメント評価で D より上の評価を得るためには、C12.1 でサプライヤーとエンゲージメントしていることを示す必要があります。

配点

得点	配点
1	1

(C12.1a) 気候関連のサプライヤーエンゲージメント戦略の詳細を記入してください。

他の質問との関連性

C12.1 の回答で [はい、サプライヤーと] を選択した場合、本質問が表示されます。

回答形式

以下の表に回答してください。読みやすくするため、ここでは複数の行に渡って表示しています。[行を追加] をクリックして、回答行を追加することができます。

エンゲージメントの種類	エンゲージメントの具体的内容	サプライヤー数の比率 (%)	調達総支出額の割合（直接および間接）	C6.5 で報告したサプライヤー関連スコープ 3 排出量の割合	エンゲージメントの対象範囲の根拠	成功を測る評価の指標を含むエンゲージメントの影響	コメント
選択肢： - 情報収集（サプライヤー行動の把握） - エンゲージメントおよびインセンティブ付与（サプライヤーの行動変容） - 技術革新および協力（市場の変革） - その他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択： 情報収集（サプライヤー行動の把握） - 少なくとも年 1 回、サプライヤーから温室効果ガスに関するデータを収集する - 少なくとも年 1 回、サプライヤーから目標に関する情報を収集する - 少なくとも年 1 回、サプライヤーから気候関連のリスクおよび機会に関する情報を収集する - 少なくとも年 1 回、サプライヤーから移行計画に関する情報を収集する - 少なくとも年 1 回、サプライヤーからその他の気候関連情報を収集する - その他、具体的にお答えください エンゲージメントおよびインセンティブ付与（サプライヤーの行動変容） - エンゲージメントキャンペーンを実施し、気候変動についてサプライヤーを教育 - 信頼できる再生可能エネルギー使用の主張方法に関する指導、支援、およびベストプラクティスについて提供 - 科学的根拠に基づいた目標の設定に関するトレーニング、支援、ベストプラクティスについて提供 - 企業の再生可能エネルギー調達の仕組みの模索に関してサプライヤーと直接連携	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用して、0～100 の%を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用して、0～100 の%を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用して、0～100 の%を入力]	文章記入欄 [最大 2,400 文字]	文章記入欄 [最大 2,400 文字]	文章記入欄 [最大 2,400 文字]

エンゲージメントの種類	エンゲージメントの具体的内容	サプライヤー数の比率(%)	調達総支出額の割合（直接および間接）	C6.5 で報告したサプライヤー関連スコープ 3 排出量の割合	エンゲージメントの対象範囲の根拠	成功を測る評価の指標を含むエンゲージメントの影響	コメント
	- 気候変動業績がサプライヤー褒賞制度に盛り込まれている - 貴社の操業排出量(スコープ 1 および 2)を削減するサプライヤーに対して金銭的インセンティブを提供 - サプライヤーが貴社の下流排出量(スコープ 3)削減に貢献した場合、金銭的インセンティブを提供 - サプライヤーが貴社の上流排出量(スコープ 3)削減に貢献した場合、金銭的インセンティブを提供 - 全体のエネルギー構成のうちの再生可能エネルギーの割合を増やすサプライヤーに金銭的インセンティブを提供 - 気候移行計画を策定/採用するサプライヤー向けに金銭的インセンティブを提供 - サプライヤーが統一された気候移行アプローチを採用するように促進 - その他、具体的にお答えください イノベーションおよび協力（市場の変革） - キャンペーンを実施して、製品およびサービスの技術革新による気候影響の削減を促します - 再生可能エネルギーを調達するために革新的なビジネスモデルに関してサプライヤーと協力 - 妥当な低炭素技術の R&D にサプライヤーと共同投資します - その他、具体的にお答えください						

[行を追加]

C12.1a - 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

i) 次の各項目が回答されている場合 0.25 点

- [エンゲージメントの種類]
- [エンゲージメントの具体的内容]
- [サプライヤー数の比率(%)]
- [調達総支出額の割合（直接および間接）]、または[C6.5 で報告したスコープ 3 排出量の割合]を回答

(i) で完全な満点が付与された場合、次の 1 つの項目に対して追加のポイントが付与されます

ii)

[ルート A]

[エンゲージメントの種類] 欄で、[情報収集（サプライヤー行動の把握）] を選択し、かつ

[調達総支出額の割合（直接および間接）] 欄、または [C6.5 で報告したスコープ 3 排出量の割合] 欄で、49 より大きい値を回答している場合- 6 点

または

[エンゲージメントの種類] 欄で、[情報収集（サプライヤー行動の把握）] を選択し、かつ

[調達総支出額の割合（直接および間接）] 欄、または[C6.5 で報告したスコープ 3 排出量の割合]欄で、0 より大きく 49 未満の値を回答している場合- 2 点

または

[エンゲージメントの種類] 欄で、[情報収集（サプライヤー行動の把握）] を選択し、かつ

[調達総支出額の割合（直接および間接）] 欄、または[C6.5 で報告したスコープ 3 排出量の割合]欄で、0 と回答している場合 - 0 点

または

[ルート B]

[エンゲージメントの種類] 欄で、[エンゲージメントおよびインセンティブ付与（サプライヤー行動変容）] を選択し、かつ

[調達総支出額の割合（直接および間接）] 欄、または [C6.5 で報告したスコープ 3 排出量の割合] 欄で、39 より大きい値を回答している場合- 8 点

または

[エンゲージメントの種類] 欄で、[エンゲージメントおよびインセンティブ付与（サプライヤー行動変容）] を選択し、かつ
[調達総支出額の割合（直接および間接）] 欄、または [C6.5 で報告したスコープ 3 排出量の割合] 欄で、0 より大きく 39 未満の値を回答している場合- 4 点

または

[エンゲージメントの種類] 欄で、[エンゲージメントおよびインセンティブ付与（サプライヤー行動変容）] を選択し、かつ
[調達総支出額の割合（直接および間接）] 欄、または [C6.5 で報告したスコープ 3 排出量の割合] 欄で、0 と回答している場合- 0 点

または

[ルート C]
[エンゲージメントの種類] 欄で、[イノベーションおよび協力（市場の変革）] を選択し、かつ
[調達総支出額の割合（直接および間接）] 欄、または [C6.5 で報告したスコープ 3 排出量の割合] 欄で、39 より大きい値を回答している場合- 8 点

または

[エンゲージメントの種類] 欄で、[イノベーションおよび協力（市場の変革）] を選択し、かつ
[調達総支出額の割合（直接および間接）] 欄、または [C6.5 で報告したスコープ 3 排出量の割合] 欄で、0 より大きく 39 未満の値を回答している場合 - 6 点

または

[エンゲージメントの種類] 欄で、[イノベーションおよび協力（市場の変革）] を選択し、かつ
[調達総支出額の割合（直接および間接）] 欄、または [C6.5 で報告したスコープ 3 排出量の割合] 欄で、0 と回答している場合- 0 点

1 行が採点対象となる

配点

得点	配点
9	9

気候関連要件

(C12.2) 貴社のサプライヤーは、貴社の購買プロセスの一部として気候関連要件を満たす必要がありますか。

回答形式

以下の選択肢のうちから 1 つを選択します：

- はい、気候関連要件が自社のサプライヤー契約に含まれます
- はい、サプライヤーは気候関連要件を満たす必要がありますが、自社のサプライヤー契約には含まれていません
- いいえ、しかし今後 2 年以内に気候関連要件を導入する予定です
- いいえ、今後 2 年以内にも気候関連要件を導入する予定はありません

C12.2 - 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

[はい、気候関連要件が自社のサプライヤー契約に含まれます] - 1 点

または

[はい、サプライヤーは気候関連要件を満たす必要がありますが、自社のサプライヤー契約には含まれていません] - 0.5 点

または

[いいえ、しかし今後 2 年以内に気候関連要件を導入する予定です] - 0.25 点

または

[いいえ、今後 2 年以内にも気候関連要件を導入する予定はありません] - 0/2 点

配点

得点	配点
0 か 1	1 か 2

(C12.2a) 貴社の購買プロセスの一部としてサプライヤーが満たす必要がある気候関連要件と、実施している順守メカニズムについて具体的にお答えください。

他の質問との関連性

C12.2 の回答で [はい...]の選択肢が選択されている場合にのみ、この質問が表示されます

回答形式

以下の表に回答を記入してください。表の下にある[回答行を追加]ボタンを押すことで、回答行を追加できます。

気候関連要件	気候関連要件の詳細	気候関連要件に準拠する必要があるサプライヤーの割合 (調達支出別)	気候関連要件に準拠しているサプライヤーの割合 (調達支出別)	この気候関連要件の準拠をモニタリングするための仕組み	この気候関連要件に準拠していないサプライヤーへの対応
以下のドロップダウン選択肢から選択します	文章入力欄 [最大 1,500 文字]	パーセンテージ記入欄 [最大小数点第 2 位を用いて、0～100 の割合を入力]	パーセンテージ記入欄 [最大小数点第 2 位を用いて、0～100 の割合を入力]	該当するものをすべて選択： ● 認証 ● サプライヤーの自己評価 ● 第一者検証 ● 第二者検証 ● 遠隔第三者検証 ● 現地第三者検証 ● 苦情処理メカニズム/内部告発ホットライン ● サプライヤースコアカードまたは格付け ● 準拠をモニタリングするメカニズムはない ● その他、具体的にお答えください	選択肢： ● 除外する ● 対応なし ● 維持して協働する ● 中断して協働する ● その他、具体的にお答えください

[行を追加]

気候関連要件ドロップダウン選択肢:

- 規制要件への準拠
- 公開プラットフォームを通じた気候関連情報開示
- 非公開プラットフォームを通じた気候関連情報開示
- 漏洩による排出(フュージティブエミッション) 削減
- 排出削減イニシアティブの実施
- 製品レベル排出量の測定
- 再生可能エネルギーの購入
- 低炭素エネルギー目標の設定
- 提供した製品またはサービスの最低排出原単位基準の達成
- 製品カーボンフットプリント(PCF)削減
- 科学的根拠に基づいた排出量削減目標の設定

- 再生可能エネルギー目標の設定
- 廃棄物削減と原材料の循環性（マテリアルサーキュラリティ）
- その他、具体的にお答えください

C12.2a – 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

[気候関連要件]欄で[科学的根拠に基づいた排出量削減目標の設定]を選択 - 4 点

または

[気候関連要件]欄で[科学的根拠に基づいた排出量削減目標の設定] と [その他、具体的にお答えください] を除くいずれかの選択肢が選択されている場合 - 1 点

配点

得点	配点
4	4

気候変動スコア

CDP 気候変動スコア

(C1-C14) CDP2023 気候変動スコアに基づいて得点が付与されます。

C1-C14 - 評価基準

C1-C14 - 評価基準

CDP2023 気候変動スコア全体に応じて、以下の通り得点が付与されます。

- A 10 点
- A- 9 点
- B 6 点
- B- 5 点
- C 4 点
- C- 3 点
- D 2 点
- D- 1 点
- F 0 点

配点

得点	配点
10	10

重みづけ（ウェイトイング）

サプライヤーエンゲージメント評価の最終スコアは、各セクションに特定の重みづけをして算出されます。

CDP 質問セクション	サプライヤーエンゲージメント評価におけるウェイト
ガバナンス	20%
目標	15%
スコープ 3 排出量算定	20%
サプライヤーエンゲージメント	35%
CDP 気候変動全体スコア	10%